

市内公共施設を視察しました

令和5年12月8日、議員研修として美濃市内の公共施設5か所の視察をしました。

1. 美濃市学校給食センター

令和4年8月より運用開始の学校給食センターは最新の設備を誇るとともに、動線がうまく配置されており、安心安全な給食を提供するための工夫にあふれています。



2. 以安寺山

以安寺山を市民の憩いの場とするため、平成29年度から令和3年度にかけ、森林調査、伐採、遊歩道整備、見晴台整備、四季折々に咲く花木の苗木を植栽し整備がされました。



3. 美濃手すき和紙の家 旧古田行三邸

昔ながらの紙すきの家の形式を色濃く残している旧古田行三邸を一般公開しています。実際に紙すきに携わっていた地域の方々が観光客等に美濃和紙文化や道具の説明や案内を行っています。

開館日・3月～11月の土日祝日
時間・10時～16時 (入館無料)



4. 美濃和紙用具ミュージアムふくべ

旧片知小学校を改修し、美濃和紙用具類や民俗資料の展示を行っています。また、和紙用具の製作技術の研修や生涯学習、地域交流の場としても利用されています。

開館時間・10時～16時
休館日・火曜、祝日の翌日、年末年始



5. 木のものづくり施設 木工工房FUKUBE

旧下牧小学校2、3階を改修し、木のものづくりに関わる新商品の開発の促進及び、次の時代を担う人材育成支援をする施設です。多目的ホールでは多種多様な木のおもちゃで遊ぶことができます。

開館時間・10時～17時 (入館無料)
休館日・水曜(水曜が祝日の場合は翌日)、年末年始



今回の視察を活かし、さらに美濃市の活性化に取り組んでいきたいと思っております。

令和6年第1回定例会の日程

※令和5年度補正予算、令和6年度予算(案)、条例の制改定等について審議します。

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 2月27日(火) 10:00 本会議 | 3月15日(金) 9:00 総務産業建設常任委員会 |
| 3月12日(火) 10:00 本会議(質疑・一般質問) | 3月18日(月) 9:00 民生教育常任委員会 |
| 3月13日(水) 10:00 本会議(一般質問) | 3月19日(火) 9:00 民生教育常任委員会 |
| 3月14日(木) 9:00 総務産業建設常任委員会 | 3月22日(金) 10:00 本会議 |

★編集後記★

元日の能登半島地震により大変な年明けとなりました。災害対応は私たちにとっても身近な問題です。日々刻々と変わる情勢に気を引き締める毎日です。

連絡先 市議会だより編集委員
電話 : 0575-33-1122(内410-411)
E-mail : gikaimino@gmail.com

編集委員：鈴木美智子(委員長) 池村周二(副委員長)
渡辺曉典 古田伸享 井川竜徳 古田優 後藤研也 須田盛也 辻文男

★マチイロ★

市議会だより・広報みの がアプリで読めます。

iOS用



Android用



みの市議会だより

【No. 15】
美濃市議会
令和6年3月発行

令和5年第5回(12月)美濃市議会定例会について
会期を12月4日から12月21日までの18日間として開催しました。

令和5年度専決処分2件、補正予算8件、条例制定3件、条例改正6件、合計19案件を可決しました。

今議会の一般質問には、10名の議員が登壇し、2日にわたりそれぞれ市政一般について質しました。

- 12月 4日(月)・・・本会議(議案説明等)
14日(木)・・・本会議(代表質問1名、一般質問6名)
15日(金)・・・本会議(一般質問3名)
18日(月)・・・総務産業建設常任委員会
19日(火)・・・民生教育常任委員会
21日(木)・・・本会議(採決)



美濃和紙の日(11月27日)にちなみ、12月の定例会を「美濃和紙議会」と銘打って開催しています。美濃和紙議会における装飾は、美濃和紙花同好会の皆さんや観光協会にご協力いただきました。

※今回の議会だよりは、一般質問の登壇者が10名となったため、審議した議案の掲載を割愛し、12月実施の市内公共施設視察について掲載しました。

審議議案等は、[美濃市ホームページ](#)→[行政情報](#)→[美濃市議会](#)→[会議の情報](#)→[議案の概要/議決結果](#)でご確認いただけますようお願いいたします。



12月議会 各議員による会派代表質問・一般質問

① 山口育男 議員 会派代表質問 (美濃市議会市政クラブ)



② 古田 優 議員 (新しい風)



■令和6年度予算編成方針について

問：新年度(令和6年度)の予算編成方針はどのようなか。

答：令和6年度予算における「歳入」のうち、税収の見通しは、令和6年度が固定資産の評価替えの年であることから、固定資産税の減収が見込まれるほか、法人税の減収も想定され、「歳出」は、経常経費の占める割合が増えることが見込まれ、極めて厳しい状況を想定した財政運営に努めなければならない。

令和6年度予算編成方針には重点施策として、「少子化対策や子ども政策」「DXの展開」「企業誘致の推進」「SDGs・カーボンニュートラルといった地球規模の喫緊な課題」を示し、積極的に進めていかなければならないと考えている。

既存事業は、真に必要な事業への集約、経費の見直しを実施し、また、施設の維持管理経費増を踏まえた適正な受益者負担の見直しも検討する。

なお、物価高騰、子育て支援、防災など緊急な対応を要するものについては、編成方針にないものであっても、柔軟に対応することとしている。

■「消防感謝祭」第72回岐阜県消防操法大会について

問：大会会場が県消防学校となった経緯はどのようなか。

答：競技会場の臨時舗装や駐車場の確保などによる運営経費増大が課題となっていることから、県及び県消防協会において、会場の固定化が協議され、本市も賛同した。

問：直近の大会における開催市の負担額はいくらか。

答：令和4年度の開催市負担額は約2,000万円、令和元年度は約2,200万円であった。

問：大会会場の固定化により、美濃市の負担額はどのようになったのか。

答：県に競技部分の舗装を、国交省木曾川河川事務所に駐車場の確保を行っていただいたことにより、大会経費は約1,130万円となり、うち市負担額は約770万円であった。

問：開催時期の見直しは検討されているか。

答：時期の見直しは、本市が関与するものではないが、開催市の立場から、酷暑の中での開催における熱中症対策の必要性を報告した。県消防協会では、時期変更を前提に協議が行われている。

12月議会 各議員による一般質問

質問の詳細情報は、記載の二次元コードより視聴できます。

二次元コードの接続先は、YouTubeの動画配信です。

③ 辻 文男 議員 (しんし)



■美濃手漉和紙の保持と本市の関わりについて
問：手すき和紙生産者の団体と本市の関わりはどのようなか。
答：美濃手すき和紙協同組合は17の事業者や個人が参画し、後継者確保や技術伝承、需要拡大などの活動を行い、市から補助金や展示会開催支援を受けている。本美濃紙保存会は6名の会員で、文化庁や県の指導を受けながら本美濃紙の伝承と育成に取り組んでいる。
問：手すき和紙を市指定無形文化財にすべきと考えるが、いかがか。
答：無形文化財に指定する場合、その技術の継承の実現性が重要視されることから保存会等の組織が必要となる。実際に紙漉きに携わっている方の意見を伺って検討していく。
問：現存する美濃和紙に関する碑を市指定史跡にすべきと考えるが、いかがか。
答：上野、御手洗、蕨生にある碑は、美濃和紙文化の歴史上重要な史跡として記念碑になるものと考えているが、市史編纂の調査過程において、指定等について検討を進めていく。
問：手すき和紙経験者の音声等記録収集に取り組むべきと考えるが、いかがか。
答：保存資料として取り組む際は、支援する。

④ 須田盛也 議員 (無会派)



■将来の学校のあり方について
問：「将来の学校のあり方検討会」のこれまでの取組と今後の計画はどのようなか。
答：この検討会は子どもにとっての理想的な学校の規模や教育環境について、将来的な児童生徒数やその他社会の動向を踏まえた上で検討することを目的に組織した。岐阜大学教職大学院原尚特任教授を座長に、小中学校PTA、連合自治会、市内教職員、両中学校区の学校運営協議会の代表10名で構成。
第1回を6月22日、第2回を11月21日に開催。また、10月から11月にかけて、県内の3つの義務教育学校を視察した。7月から9月にかけて、事務局において子どもの意見や先生方の考えを聴取、市民アンケートや市民意見交換会を実施した。第2回の検討会ではアンケート調査結果等を提示し、まとめとして「子ども同士、子どもと先生、学校と地域等、みんなが関わる『令和版わっちの学校』をつくっていききたい。」と確認した。
検討会の様子や出された意見については市のホームページで概要を公表している。今後とも検討会を重ね、会としての方針を今年度中に固め、教育長に答申される予定である。

⑤ 井川竜徳 議員 (公明党美濃市議員)



■移住・定住政策について
問：美濃市は人口減少が続いており年平均で約300人以上人口が減り続ける現状を考えると、移住・定住政策は重要であり急務である。美濃市の移住政策の一部はNPO法人美濃のすまいづくりに委託されているが、同NPO法人の現在の具体活動状況及び、今後求める具体的取組は何か。
答：NPO法人美濃のすまいづくりの具体的活動状況は、空き家所有者又は移住希望者の相談対応、ホームページの運営、空き家利活用の啓発活動を実施、今後求める取組は、移住者に提供できる優良な空き家の新規登録等を更に推進してほしいと考えている。
問：地域おこし協力隊の藤原さん他、2人のパート従業員で成果を上げているが、今後、組織の強化と独自の収益事業により収入を増やす仕組みの構築には、最低1人の専従で指揮を執る人材が必要だと考えるが、NPO法人美濃のすまいづくりへの移住定住促進事業委託料の増額は考えているか。
答：今年度委託費で1,189万円拠出している。当面の活動費としては十分と捉えており、増額は考えていない。

⑥ 後藤研也 議員 (日本共産党美濃市議員団)



■令和6年度予算編成方針について
問：子育て支援を重点に置いているが、給食費の保護者負担の軽減や18歳以下の医療費窓口負担の助成はどのように検討しているか。
答：給食費は現在2人目3人目への助成をしており、また、物価高騰分を助成して値上げを抑えている。医療費は小中学生は全額、高校生は入院費を助成し、昨年度は6,460万円の軽減を行った。現段階ではこれ以上については、検討はしているが当面実施については考えていない。
■市内農地の将来のあり方について
問：田畑の荒廃についてどう考えているのか。
答：大きな課題と捉え、農地の荒廃が進まないよう、農業委員会を中心に取組を進めてきた。H30年度には大矢田地区で農地を集積し、サツマイモを生産する農業法人を担い手としてマッチングにつなげ、耕作されている。R3年度には上野地区で水稲生産の農業法人やイチゴ栽培の新規就農者につなげた。昨年度には立花の佐ヶ坂地区で地域の話し合いで農業法人を担い手としてつなげた。引き続き農業や農地の将来に不安を抱える地域と関わり、荒廃化の防止や有効活用に取り組む。

⑦ 鈴木美智子 議員 (無会派)



■都市公園の整備について
問：令和5年4月に整備された美濃市運動公園児童広場では、トイレに小児用便器がないなど利用者目線が活かされていない。市民の意見を取り入れる方法はあるか。
答：児童広場の多目的トイレに小さいお子さんが安心して使えるオマル式の補助便座を設置する。
今後、新規整備の際には整備内容について検討委員会で審議し、必要に応じwebアンケート等を実施して計画に反映させ、施設の質的向上を図る。
問：小倉公園のトイレや動物園は老朽化が進んでいるが、整備やリニューアルの予定はあるか。
答：今後、トイレの全面改修は小倉公園全体の計画の中で考えていき、その際には公園利用者のご意見やご要望をお聞きしながら検討していきたい。
当面は衛生的に使用できるよう利便性を考慮した改修につとめる。動物園舎は今年度中に柵、金網の再塗装を行う。

⑧ 古田秀文 議員 (無会派)



■子どもの口腔健康維持について
問：今後のフッ化物洗口への対応はどのようなか。
答：保護者への説明、教員への研修を行い令和6年度4月から全ての小中学校の希望者全員がフッ化物洗口をできる様、準備を進める。
■美濃市健康文化交流センターの機能について
問：児童ルームの現状はどのようなか。
答：常勤職員の配置はないが、親子連れから放課後の児童まで多くの方に訪れて頂いている。
問：施設で起きている問題や対処はどのようなか。
答：小中学生の言い争い、走り回る、大声、中学生の利用マナーの悪さ等苦情があった。口頭注意、注意喚起貼り紙、見回り増やし対応。
問：利用者の意見はどのようなか。
答：遊具の充実、読み聞かせやイベント、子ども同士で遊べる活動の充実といった要望。
問：常駐できる職員の配置を含め今後の児童ルーム運営に関する見解はどのようなか。
答：利用状況や時間帯によっては見守る職員の配置は検討するが常駐職員は配置しない。
■DX推進について
問：DX推進計画の今後の取組はどのようなか。
答：住民票、戸籍証明書等各種証明書のオンライン交付。防災無線デジタル化の仕組み作り。

⑨ 池村周二 議員 (無会派)



■防災ラジオの配布状況と今後のデジタル化について
問：地域集会施設や自治会長宅に配布されている戸別受信機はどのようなもので、経緯はどのようなか。
答：防災無線の内容を聞くことができる戸別受信機は130台設置したが、防災ラジオの販売開始に伴い、利用を設置先に一任した。
問：現在の防災ラジオの普及状況はどのようなか。
答：1台1,000円で販売しており、累計販売数は、4,300台ほどとなっている。
問：防災無線のデジタル化に関する進捗状況はどのようなか。
答：単なるデジタル化では課題が解消できないため、防災無線にとらわれない情報伝達手段について研究している。
問：高齢者向けのスマートフォン利用への対応はどのように考えているか。
答：スマートフォンの利用が難しい高齢者には防災ラジオの設置を促しているが、できればスマートフォンの利用に慣れることが肝要と考え、相談窓口を開設している。

⑩ 古田伸享 議員 (新しい風)



■美濃市ふるさと納税について
問：今年度のふるさと納税の取組とその成果はどのようなか。
答：返礼品を拡充するため事業者訪問を強化し新たに26品目が返礼品サイトに登録された。そのうち健康家具製品や蜂蜜製品は好調な申込数となっている。また全国のより多くの皆様に美濃市の返礼品を知っていただけるよう返礼品の掲載サイト数を10から12に増やした。さらに市総合フェアでも返礼品のPRを行った。このような取組の結果、現時点で昨年度実績を大幅に上回り、今年度の受入寄附額は1億円を超える見込み。
問：今後のふるさと納税の取組はどのようなか。
答：今後は商工会議所等と連携して事業者訪問を実施し返礼品の登録事業者をさらに増やしていきたいと考えている。新たな取組として返礼品サイトに商品を登録いただいている事業者を対象とした勉強会を開催し各事業者の返礼品やサイトに掲載している写真等のブラッシュアップを促していきたい。美濃市ならではの魅力ある返礼品の商品開発については各事業者の販路拡大につなげられるように市の補助制度の周知を図っていく。